

ふるさと上越

NO. 10

2001年2月15日発行

●発行
ふるさと上越ネットワーク事務局
(上越市東京事務所内)
〒100-0012
東京都千代田区日比谷公園1-3
市政会館5階
TEL. 03-3503-1521
FAX. 03-3503-1522

ネットワーク

この情報紙は

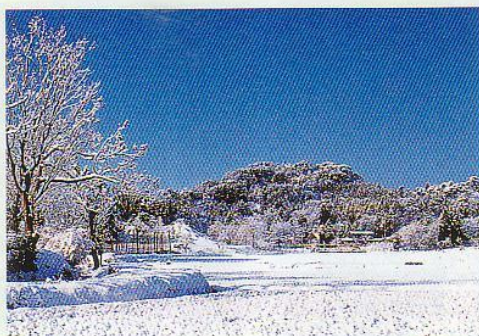
- ふるさと上越が好き!
 - ふるさと上越との交流を深めたい!
 - ふるさと上越にゆかりのある人
たちと交流の輪を広げたい!
 - ふるさと上越の発展の役に立ちたい!
- …そんな、あなたにお届けしています。

c o n t e n t s

- Jネット座談会 ……………1~3
- Jネットサロン ……………4
- 思い出の風景は今、はつらつグループ紹介 ……6
- 母校は今 ……………7
- イベント情報、ふるさとの味、会員からの便り ……8

【情報お待ちしています】TEL.03-3503-1521

それと私は農業の勉強・研究をしていることから、田舎の水田にあります



間がまるつ

きり変わりました。もつとびつくりしたのは、カラスの飛んでいく方向が西北なんです。昔は寺町へ向かって行きました、これも方向が変わったなあと思いましたが。もう一つは、私の家の裏が田んぼで、水を西から東へ導いていました。その水を潤してきた道が東から西へやって青田川へ出たんですが、その南側の道が宅地開発で東から西へ流れている時はドキッとしましたね。

上越がだいぶん変わったなあと思うことは結構あります。中でも高田駅の周辺、本町5丁目付近。昔いずもやさんとかありましたよね、学生の頃買いたったという記憶があります。

まずはじめに、ふるさとのなつかしい景色などをお聞かせください

「はさ木」に稲がかかっているという情景は非常に印象深く、いまでも懐かしく感じます。安藤…私が高田で変わったなと思うのは、方向が3つ違っていることです。1つは、南

葉山へ行く途中に見えるボブラの木。ボブラはいままで右に見えたのが左に見えたので驚きました。また関川の稲田、上

長谷川…私は出身は新井市ですが、高校と会社が上越でしたので、その関係でJネット会員になって活動しています。上越がだいぶん変わったなあと思うことは結構あります。中でも高田駅の周辺、本町5丁目付近。昔いずもやさんとかありましたよね、学生の頃買いたったという記憶があります。



Jネット会員による座談会が、平成12年12月2日(土)上越市東京事務所を会場に行なわれました。上越市に對する思いやJネットとの関わりについて話し合われました。

平成12年12月2日(土) 於：上越市東京事務所

ふるさと上越
こんなところ
Jネット座談会開催

◆座談会出席者◆

尾原 勝利さん(愛知県)
岡村 普さん(東京都)
坪木 良雄さん(神奈川県)
長谷川由美子さん(長野県)
安藤 三郎さん(埼玉県)
進行 和栗 康俊(Jネット事務局)

田舎の食べ物に感謝



岡村 普さん(38歳)

・東京都台東区(西本町4出身)
・ふるさとを離れて20年

また田舎の思い出は、食べ物の思い出ですね。今考えるとおいしい物を食べていたんだなあと思います。(全員うなずく)

岡村…私が最近ふるさとに帰って思ったのは、車に乗せてもらおうと新しい道が出来ていて、過去に使っていた道が私道みたいになっていてメインの通りは別に大きく出来ていました。

変わった高田に びっくり



安藤 三郎さん(75歳)

・埼玉県大宮市(東本町3出身)
・ふるさとを離れて60年

上越という雪国というのが一番印象深いです。それと子どもの頃田んぼにいた蛭を捕まえて遊んだという記憶があります。

上越を見ると本町1丁目から3丁目は昔の雁木通りがあって、昔のおもかげが結構残っています。郊外へ出ると田園地帯が残っていて、昔ながらのいい景色だなあと思います。時代は変わっても古い物を大事にして新しい物を取り入れてという感覚でお願いしたいなと思います。

環境問題に期待



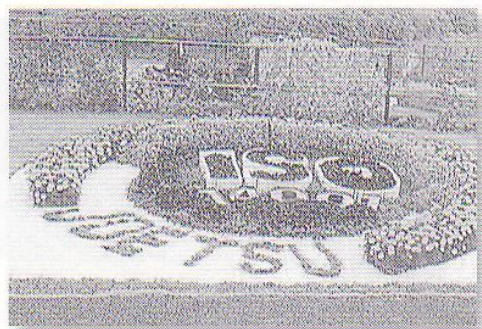
尾原 勝利さん(56歳)

・愛知県春日井市(西城町2出身)
・ふるさとを離れて40年

— 皆さんが住んでいらっしやるまちとふるさと上越を比べて、いい所でも悪い所でも、また市の行政に対して何かありますか？

尾原…行政の話ですが、ゴミですね。上越市はISO14001を取って、ISO14001を取ったからといってどういったことでなく、取ってからどうするかという話なんだろうが、そういう意味では一番に取ったということで脚光を浴びたところですね。

実は名古屋というの、それまではゴミはほったらかしで、多治見と名古屋の間にものすごいゴミ箱をつくったんですね。そこに何でもいからどんどこ入れとくと、それでワアーと増えちゃって、調べたらもう何年分しか余地がないということ、環境問題へ。その後、捨てるものがガバツと減りまして、今名古屋が一番ゴミに対して進んでいる。ものすごい分別をやらせています。マニュアルがものすごく厚いんです。



都市と農村の調和を



坪木 良雄さん(68歳)

・神奈川県川崎市(飯田出身)
・ふるさとを離れて50年

環境問題というのがこれから大変じゃないかと思っていますので、よろしく願いたいと思います。

安藤…私は建築の骨組みの専門ですが、今はいきなりコンピューターにかけて、その結果を信頼しすぎて事故が起きています。

我々は設計するときは予め図面を書いてみるんですね。大きい線で骨組みを、それを眺めてあーだこーだと検討し、その結果をコンピューターにかけて、更に絵を書いて、チェックしてというのが本来なのですが、今はいきなり機械にかけてそのままやってしまうものだから、とんでもないことが起きてしまう。だからISOを取ったのはいいのだが、それをどうやってフィードバックするかというのが大事でしょうね。

— これからの、ふるさとのまちづくりに期待することは何ですか？

坪木…確かに便利になって都会的になるのは結構なこと、生活レベルがあがっているのはいいんですが、田んぼを潰して団地とかに計画をされています。あの辺はかなりきちつとおさえて農村的な都市づくりを

やっていた方がいいと思います。田んぼというのは平らですから、見た目では何でもできるんですね。山を崩して建てるのならまだいいんですが、平らな所をみんな潰してしまう。田んぼをみんな潰されていますから、その辺がちよっと寂しいなあという感じがします。人為的な発展と自然の調和を考えて欲しいですね。

岡村…東京とか大都市が近くなればいいんですよ。必要に応じてすぐ出てこれるような感じにすれば、普段上越にいてもなにも困らない。新幹線で往復しても1万円にするとか、理想的なのは上越に住んで、週1回東京へ通うとか、東京に住んでいる人は上越に家を持って週1回帰るとか、21世紀にはそれができるようにないですかね。

— Jネットの一番のテーマは一人でも多くの方に参加していただくのですが、それについて皆さんのご意見を伺いたいと思います。

岡村…昔、謙信会というのがあったような気がしたんですが、1回出てそれから行かなくなっちゃったんです。なぜかというと、大がかりすぎたのかなと、会費も結構そこそこ取りましたし、有名人のゲストも呼んでくるんですよ。逆に、それでは長続きしないなあ、そう思いました。

尾原…そうですね。どのようにメンバーを集めてという話ですね、会の存在をまず知らせなければならぬし、集まる場所も必要だしでコストがかかる。自己負担が沢山だと誰も来ない。そういう点でここへ入ってきて、「すごいなあ、(名古屋地区にも)こういう集まる場所があるといいなあ」と思いました。

大切なのはふるさとを
なつかしがる心



長谷川由美子さん(38歳)
・長野県御代田町(新井市出身)
・ふるさとを離れて20年

どうやって知らせる、どこで集まる、お金のミニマム、この3つでしょうね。

長谷川…この会の年会費は3000円です。よね、年12回広報誌を皆さんの所へ。80円×12回で大変でしょうね。あの大きさです。で最低100円かかる…。

安藤…そういう所を合理化していくということが何かないでしょうか。

尾原…自分が知っている人間をどうやって呼ぶかが鍵。とはいっても知人云々ではたかが知れているので、合理的にやるには、私考えたのは、同窓会案内です。同窓生にまず発信すると。名簿、電話番号全部分かっていますからそれが一番です。

和栗…はい。これは現在、実際行っております。皆さんから提供していただいた名簿を利用して案内を送っています。でも1000人に送って10人くらいの加入です。やっぱり皆さんの口コミが一番ですね。

長谷川…高校を卒業するときに、こういうのがあるんだよと、市の発展のためになるのというのはどうでしょう。



坪木…基本的に会員の数が多ければ多いほどいろんな事業ができますね。

和栗…今お入りいただいた方には今年度分として1000円で扱っております。また、ふるさとカレンダーもお届けしています。今お入りいただくので得ですね。それを売り物にして、来年も引き続き加入してもらいたいと思います。それから同窓会や各地区のふるさと会にJネットを紹介していきます。それに加え、皆さんの口コミで会員増に向けた取り組みを行なっていきますのでご協力をお願いします。

—長谷川さんは長野で、尾原さんは名古屋で開催のJネットサロンに参加されましたが、いかがでしたか。他にもっとこうしたい、回数を増やしたいとありますか？

尾原…名古屋の場合、開催できても年に1、2回ですよ。何人集まるかは疑問ですが、それでも何人か集まって交流が深まればいいんじゃないでしょうか。

長谷川…私もそう思います。長野サロンは皆さん同じふるさとという結びつきもあり、

すぐに親密になり会も大変盛りあげました。岡村…そうですね。東京では毎月一回、東京事務所でサロンをやっているのを聞いて、まず会費(1000円)が安いこと、日を決めている(毎月第2水曜日)ということで参加しています。そして一度参加した人が親しみを感ずいて「良かったから知人も誘おう」と、そういう点ですごく参加しやすいと思います。

—Jネットの運営に対してどうですか。もっとこうしたいとか、こういった事業を行ったらどうかとありますか？

岡村…インターネットで上越市のホームページにつなげれば10分毎に画像を送ってくるので雪の時期は是非見たいなと。また、メールを開けばふるさとの様子がこうだというのがわかるという点。

尾原…これまでの親睦団体としての活動のほかにも方向性を考えるとすれば、事業の展開も変わってくると思います。

長谷川…大切なのは同じふるさとを持つものが、ふるさとをなつかしがることかしら。

尾原…そうですね。どこか一つ繋がっているということが大切。それと、名古屋で実現できるかどうか別ですが、名古屋の中にいても知らないところが多くあります。そのようなところを地域再発見のイベントとして企画してはいかがだと思います。そしていっぱい飲むといいのかなあ。

安藤…なるほどそれはいいですね。(全員うなずく)

尾原…例えば私の母校は同窓会が非常に盛んなところで、そういったことを毎年やっています。飲み会は勿論ですが、必ず地域の工場見学をやっています。

—そろそろ時間になりましたので、皆さん何か言い残した、これだけは言いたいということがあればどうぞ。

坪木…私はあくまでも親睦会としてお互い連絡を取り合い仲良くしていくことが非常にいいと思います。

尾原…やっぱり人ですね。教育に力を入れてがんばってください。

岡村…自然と都市化を両立するようにがんばってください。

安藤…私も同感です。それと、若い人を教育して下さい。

長谷川…いつか上越へ帰ります。(笑)

—長時間にわたりありがとうございました。事務局ではこれからもより充実した活動を考えております。皆さんの積極的なご意見をお願いします。



開催

毎月第2水曜日、東京事務所を会場に行なわれているJネットサロン。今年は長野と大阪におじゃましてサロンを開催しました。

長野地区

■と き/平成12年 **10月28日(土)**

■ところ/ **ホテルメトロポリタン長野**

長野地区Jネットサロンを、平成12年10月28日(土)正午より、長野駅前のホテルメトロポリタン長野を会場に19名の参加で開催しました。まず松川副会長による開会挨拶、泉長野市新潟県人会長の挨拶があり、乾杯・懇親に入りました。初めて会う人たちがほとんどで、全員の自己紹介コーナーではそれぞれ故郷への思いや現況を話されました。会も終りに近づき「高田の四季」を合唱すると、なつかしさに涙する人も見られました。



いろいろご意見を

松川 太賀雄 Jネット副会長

上越はふるさとであると同時に、皆さまにとって海でもあります。ふるさとを思う気持ちもより強い

ことと思います。Jネットと一緒に元気の出る会にしていきたいと思います。



ふるさとをなつかしむ 輪を広げて

泉 定男 長野市新潟県人会長

ふるさとから離れて改めて上越市を見ると、すばらしくよくなったなあ、行政もご苦労されたなあと思います。

今は、盆には墓参り、秋にはお米をもらいに帰ります。今後もみなさんとJネットを通じてふるさとをなつかしむ輪が広がれば幸いです。



▲地酒コーナー



▲ステージで自己紹介



▲しめはエイエイオー



▲高田の四季を合唱

参加された皆さん 19名

- 五十嵐 勉さん (長野市差出南)
- 泉 定男さん (長野市東鶴賀)
- 植木 喜由さん (長野市徳間)
- 内山 博さん (長野市南石堂)
- 大沢由美子さん (東部町西海野)
- 岡田 謙一さん (長野市中島町)
- 北島 照弘さん (長野市若穂)
- 倉澤 慶子さん (長野市三輪)
- 小池 勉さん (稲里町牧)
- 小池 由子さん (稲里町牧)
- 左右田照道さん (長野市南長池)
- 柴田 長俊さん (軽井沢町長倉)
- 田村 辰利さん (飯田市丸山町)
- 田村 春子さん (飯田市丸山町)
- 長谷川由美子さん (御代田町御代田)
- 丸山 順江さん (長野市伊勢宮)
- 宮下 昌司さん (長野市若槻団地)
- 安田 睦子さん (長野市風間)
- 吉越 謙之さん (長野市若槻団地)

近畿地区

ふるさと上越ネットワーク

サロン

■とき/ 平成13年1月20日(土)
■ところ/ ホテルグランヴィア大阪

近畿地区Jネットサロンは、平成13年1月20日(土)正午より、大阪駅前のホテルグランヴィア大阪を会場に18名の参加で行われました。太田会長の挨拶、早川Jネット通信員の挨拶・岩の原ワインで乾杯の後、懇親に入りました。今回はご夫婦や友人を伴っての参加も見られ、その場で2名から入会をいただきました。自己紹介の場面では、初対面ながら「ああ、あそこの誰々さんの息子かね」などという光景もあり、ふるさとを懐かしむ姿があちこちで見られました。



FM-Jにも出演しました

知人にPRを

太田 四郎 Jネット会長



今年は上越も雪が多いということで、高田らしい感じがいたします。平成9年に発足したJネットは会員が1,000人になりましたが、関東圏が大半で、近畿地区はまだ増員の余地があります。皆さんも知人などに大いにPRをしてください。今上越では様々な30周年記念事業が計画されています。積極的にご参加いただければ幸いです。

同郷の方々と相集えて

早川 征男 Jネット通信員



会社人間の私は、これまでふるさとを忘れがちで生きてきましたが、同窓会やJネットを通じて今ではふるさとを懐かしんでいます。同じ土地の方々と相集うことができ大変うれしく思います。今後もこの会が継続していくことを望みます。



ご夫婦で参加



Jネットに
いるおかげで、田舎の
情報を早く知ることが
できます



今なら入会金
1000円よ!

その場で入会してくれた山崎さん

参加された皆さん 18名

相沢 英美子さん (大阪市天王寺区)	坂詰 方虎さん (大阪府池田市)
相沢 青志さん (大阪府池田市)	坂詰 久子さん (大阪府池田市)
岩崎 謙吾さん (大阪市城東区)	花木 アキ子さん (京都府向日市)
尾崎 宗秀さん (大阪府堺市)	早川 征男さん (京都府山崎町)
尾原 勝利さん (愛知県春日井市)	藤 ひろさん (大阪府岸和田市)
間脇 馨さん (京都府長岡京市)	武藤 シゲ子さん (大阪市天王寺区)
黒田 恵美さん (兵庫県御津町)	宮崎 豊子さん (大阪府高槻市)
塚田 興治さん (兵庫県宝塚市)	宮崎 尚喜さん (大阪府高槻市)
中村 久子さん (兵庫県高砂市)	山崎 啓子さん (大阪府茨城市)



思い出の風景は今

会員から寄せられた
「心に残る原風景の今」
をご紹介します。あなた
の「原風景」を教えてください。

旧国鉄

「郷津駅」は今

昭和40年ごろ、駅舎からは海に顔を出しているたくさんの岩が見えた。今はフィッシングパーク駐車場となっている。当時のおもかげは残っていない。

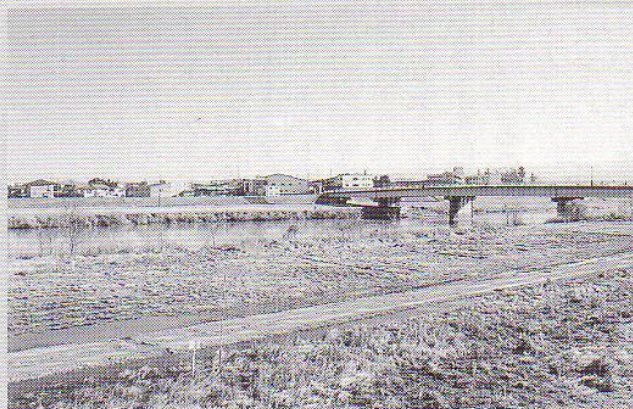


生まれ変わった

「稲田橋」

昭和30年ごろ、高田東本町5丁目と稲田を結ぶ木製のこの橋のたもと稲田下流側には、樹齢数百年の大ケヤキがあり、江戸時代からの歴史と川原で遊ぶ子ども達を静かに見守っていた。
今も高速に通じる交通の要衝である。

藤沢 勝一郎



はつらつグループ紹介 ⑥

東京六華会

～同窓会などの活躍の様子をお伝えしていきます～



▲平成12年6月5日「くわどり湯ったり村」に於て東京六華会金メダル贈呈説明会の様子

(最前列)左から
高田高校 松縄 武彦校長
高田高校 中村 昌夫先生
上越市体育協会 薄波 謙一理事長
上越市体育協会 本間 一夫会長
新井市体育協会 風間 一雄会長
新井市体育協会 平井 俊雄理事長
東京六華会 松野 緑理事長

昭和40年代頃から、旧制高田中学校卒業で在京の元運動部在籍者たちが、松野鋭一氏(中36回卒)を中心に飲み会の集まりをもっていた。

参加者も20名以上となり、昭和49年12月、渋谷の小料理屋で集まった時、松野氏と私に親交のある、上越市体育協会会長の間瀬喜代治氏の出席も得、郷土のスポーツに何か貢献しようかとの話が持ち上がり、色々検討の末、間瀬氏よりスポーツ優秀者にメダルでも、もらえないかとの意見が出、母校高田高校と上越市にメダルを贈ることになった。

早速会則を作り、松野鋭一氏を会長とし、母校の校章に因み「東京六華会」として命名し昭和50年代よりメダルを贈呈、昭和60年度からは新井市に対しても贈呈し、郷土のスポーツの振興を願ってきた。

会員は皆、ふるさと上越を思っており、昨年も6月に36名で、高田高校、上越市、新井市へのメダル贈呈も兼ねて「くわどり湯ったり村」へ訪問した。

東京六華会会長 野口 春雄

特別賛助会員

『だれもが安心して暮らせる地域づくり』
それがJA上越の願いです。
豊かな自然、そして皆様の
安全な食生活を守り続ける
ために私たちは誇りと情熱
をもって取り組んでいます。

JA上越
上越農業協同組合
〒943-0154 新潟県上越市稲田4丁目5番15号
TEL 0255-24-6444 FAX 0255-24-9395
代表理事組合長 柳澤 武治

上越を読む

月刊 上越エリア情報誌

シブク

TEL 0255-24-4275 FAX 0255-24-4451

無料 ワイナリー見学
ワイン試飲
随時受付中

営業時間/9:00～17:00
12月28日まで無休営業

日本の本格的ワイン産地の地
株式会社 岩の原葡萄園
URL <http://www.iwanohara.sgn.ne.jp/>

●上越越前自動車 中郷ICよりR18・R405経由30分 ●北陸自動車 上越ICよりR18・R405経由20分

母校は今

上越市立八千浦中学校 (下荒浜 879)

私が過した八千浦エリアは、当時を振り返ると希有に素晴らしく、自然治癒力が存在する地域であったと思います。

当時は、野球・陸上・女子バレーなどの体育活動が活発な学校で、校歌(作詞:小和田毅夫氏)の如く伸び伸び元氣よく、不屈不倒の如く育まれていたと今更ながら感じます。

現在の母校の在校生の諸君は、伝統を守りながらも、オーストラリア留学への参加や、『地域の先輩達に学ぶ学習会』として、生徒自らが興味関心がある講座を選択し(生徒の90%が有意義と回答)、地域の人々や保護者と学習を通して交流を図り、今日の殺伐とした風潮に染まることなく、『心豊かに・明るく・たくましく生きる』を日々のテーマに勉学に励んでおり、嬉しい限りです。

私が在校生時の校長は、高野鉄雄先生で、とても紳士で生真面目な先生と記憶しております。当時の木造校舎は今も無く、昭和63年9月より現在の新校舎になりました。帰省時、校門の前に立つても、当時毎日のように遅刻を知らせるチャイムと競争した校舎は、懐の中のみとなりました。



なつかしい木造校舎

我が母校の1年生47名(男25名・女22名)、2年生45名男28名・女17名)、3年生47名男25名・女22名)の諸君は、『明るい家庭の十章(八千浦中学校及びPTA)』より、第2章「礼儀や挨拶を教えましょう」、第3章「親がまず良い手本を示しましょう」、第7章「善い悪いのけじめを教えましょう」(二部省略を励行して、様々な事柄に挑戦しています。小関校長・斎藤教頭以下、先生の皆さんと仲良く頑張つてほしいです。

昭和51年卒 坂詰 真一

上越教育大学

学校教育学部附属中学校 (本城町 6・2)

我が母校は、創立以来何度も校名を変えた。生まれた時は、新潟第二師範学校附属だった。やがて、師範学校が消え新潟大学となり、昭和56年、同大学が高田を去って上越教育大学附属になったのである。

校名もさることながら、教育環境の整備充実、兵営を教室にして学んだ私共にはまさに夢を見ていた気分。音楽の授業では、生徒全員がそれぞれインターネットの音楽サイトから好みの作曲家メロディーを取り出して、感想を書いている。パソコンを使った教育実践では、すでに教育関係出版社から本も出している先進校なのである。最近ではグローバルセミナーと称する総合学習に力を入れていて、平和問

題について沖縄の中学とインターネット会議で意見を交換している。韓国との交流も盛んでソウルの中学生40人が先日来校した。後輩諸君が創立当時、無から有を生み出した我々の師弟同行、自主創造の精神をしつかり受け継いでくれているということは嬉しい。

我が桜城会(生徒会)は会歌(作詞:杉臣武・Jネット会員)ともども健在だった。IT先進校にふさわしく、桜城会もインターネットのサイトを持つている。

先輩諸君、怖がらずに覗いてやってくれ。

昭和26年卒 内藤 實



特別賛助会員

感動創造
FUKUDA CORPORATION

株式会社 福田組

代表取締役副社長 菅 部 隆
営業本部長
東京本社
〒162-8411 東京都新宿区市谷本村町3-26
TEL 03-3269-4711 FAX 03-5261-5387

平成13年秋 高田郵便局が
新しく生まれ変わります。



高田郵便局 局長 桐生 重俊

上越市リフレッシュビレッジ事業 キーワードは 自然・食・健康・癒しです

「特産品再発見」と、加工体験
「正善寺工房」
・上越市の特産品加工販売
・加工体験施設の貸出とイベントの開催
TEL(0255)23-0621

「おのほけに包まれた、静寂の温泉・宿治エリア」
上越市 宿治
くわどり湯たり村
・温泉 料金/大人500円 小学生300円
・宿泊 1泊2食/大人8,000円~ 小学生5,000円~
TEL(0255)41-2611 FAX(0255)41-2616

管理/運営 リフレ上越山里振興株式会社

高田城100万人観桜会

詳しくは広報をご覧ください



高田公園は「さくらの名所百選」の一つ。ほんばりに映える夜桜の美しさで知られる観桜会には100万人が訪れます。正式な期間は3月に決定しますので、今後発行される広報をご覧ください。

■と き/
2001年**4月上旬**
■ところ/**高田公園**

平成13年度Jネット総会・懇親会のお知らせ

平成13年度の総会・懇親会が下記の日程に決まりました。会員の皆さんが一堂に集まる絶好の機会ですので、親睦を深めるためにもぜひご参加ください。

■と き/**2001年5月26日(土)**
総会:午後4時から 懇親会:午後6時から
■ところ/**アルカディア市ヶ谷**
(東京都千代田区九段北4-2-25)
※昨年までの会場と変更になりました。ご注意ください。

会員からの便り

バルセロナで柴田長俊展開催される

Jネット理事の柴田長俊さんの展覧会『西からの視線 東からの視線』が2001年11月15日より、スペインのバルセロナで開催されました。

柴田さんは1985年、文化庁芸術家在外研修員として10ヶ月間バルセロナに滞在されています。その際にリヨッチャ美術芸芸学校のアルマ教室に通われていました。今回はそのアルマさんとの二人展です。

会場のサラ・パレスは旧市街にある大聖堂の近くで、大勢の人が訪れ大盛況でした。またバルセロナを訪れてい



(Jネット理事)

●会員募集のお知らせ

Jネットも4年目を迎え、これからますます充実した活動を行うためにも、より多くの方にネットワークに参加してもらい必要があります。ぜひ、みなさんのご親戚やご友人などにJネットをご紹介ください。事務局までご連絡いただければ詳しい案内と入会申込書をお送りします。

●住所が変わった方はお知らせください

転居により住所が変更された場合は、新住所を事務局までお知らせください。(電話、FAX、E-mailでも結構です)

●みなさんの声をお聞かせください

ふるさとへ寄せる思いや思い出など皆さんからのお便りをお待ちしています。またJネットの運営に対するご意見、ご要望もあわせて募集しています。

●タイトルマークを新しくしました

新しいタイトルマークを今回の会報から使用しています。

「味どっかへつる故郷」

高田を懐かしむ要素はいろいろありますが、その一番はやはり味です。夏の「十全なすの漬漬」、冬の「イチコのたらのこの麹漬」も、毎年イチコから送ってもらいます。高田に住んでいるときには、特に美味しいとも思わなかった日頃の食べ物、故郷を離れて生活していると大変懐かしく思われるものです。

もう一つの味は「お雑煮」です。我が家のお雑煮は今でも高田風です。餅は関西の「こ餅」ではなく高田の「切り餅」で、「味噌仕立て」ではなく「おすまし」です。遠く離れていても故郷は味で守られているように思えます。

早川 征男

(京都Jネット通信員)

編集後記

ふるさと上越は久しぶりの大雪とのこと、忘れていた雪降ろしに追われる姿が眼にうかびます。

21世紀最初の会報誌は、いかがでしたでしょうか。ふるさと上越をなつかしき語り合っていたきたいと、紙上は盛りだくさんとなっております。長野と大阪でのサロン、そして特集座談会に出席いただいた皆様方、ありがとうございました。毎月1度の編集会議に参加して1年になりますが、ますますJネットを通じて触れ合いの場が増やせたら嬉しいなと思っております。

友の名をみつけた瞬間ルーベトリ
昔にかえる午後のひととき 泉

小野塚い子
(運営委員)

東京で食べられるふるさとの味

■営業時間/午後5時から午後10時
(定休日/日曜祭日)
電話 03-3400-0505
お越しの際は電話いただけは幸いです。



さるやま
割烹「猿山」

Jネット会員で柿崎町出身の女将 猿山(旧姓 相澤)さんが経営する割烹のお店。

自慢の板前季節料理を“君の井”と一緒に提供してくれます。

猿山さんから会員のみなさんへのメッセージ

「渋谷に店を構えて30年が経ちました。お店にはふるさと上越出身のお客さんも見えます。みなさんもぜひ一度お越しください。Jネット会員の方にはビールやお酒を1本サービスいたします。姉妹店の“妙高”、“COPA”もあわせてよろしく願います。」